

卒業時アンケート（学部対象）

対象 : 学部卒業論文提出者
 実施期間 : 2021 年 1 月 5 日（火）～2 月 12 日（金）
 実施方法 : 教務係へ卒業論文を提出しに来た者にアンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。回収箱は評価・広報室前掲示板にも設置した。卒業論文の郵送を希望した者には、卒業論文と一緒にアンケートも郵送で提出してもらう。
 ※アンケートとともに卒業論文を提出するというかたちをとったため、卒業論文提出日にほぼ回収することができた。

論文提出者 : 186 名
 回答者数 : 184 名
 回答率 : 98.9% ※2019 年度 78.7%

結果まとめ 質問ごとに(全体) (実数)

【専修】 所属する専修は次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T		
哲学・思想文化学	倫理学	中国哲学	インド哲学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	日本学	人文地理学	日本語学	日本文学・国語学	比較文学	中国文学	英米文学・英語学	ドイツ文学	フランス文学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	専修名無効	合計
6	3	0	2	16	8	20	4	9	9	12	30	3	3	10	2	3	8	17	16	3	184
11			48				30			36			15			41					
哲学ブロック			歴史学ブロック				日本学ブロック			東洋文学ブロック			西洋文学ブロック			芸術ブロック					

質問 1 あなたが所属する専修において開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	B	C	D	E
非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない
108	64	8	1	3

質問 2 あなたが所属する専修において開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	B	C	D	E
強くそう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	どちらとも言えない
91	73	16	0	4

質問3 あなたが所属する専修において開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	119		58		4		0		3

質問4 大阪大学文学部の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	47		78		47		4		8

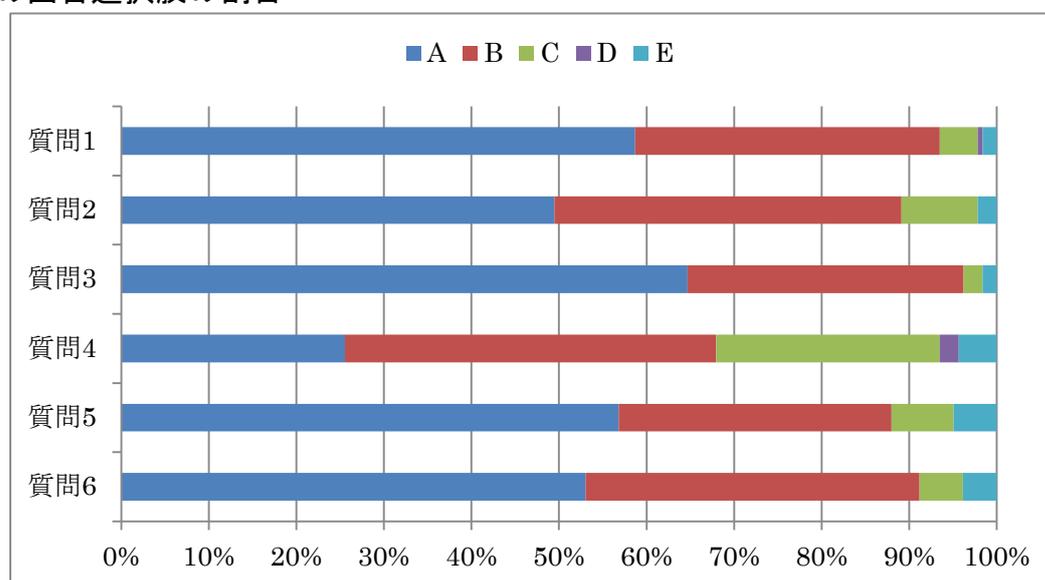
質問5 卒業論文の作成や日常の勉学について、教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
	104		57		13		0		9

質問6 大阪大学文学部での勉学は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	96		69		9		0		7

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学部での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いて下さい。

【設備・教室について】
Wi-Fi(odins)の電波をより強くすること、自習室を拡張することを希望します。
勉強に使えるラウンジ等が欲しかったです。
文系学部への予算が減らされている傾向にあり、各教室工面に苦慮しているかと思えます。財源の拡充と各教室への設備投資の充実を期待します。
研究室の開室時間、日程を長くしてほしい。
【授業・単位について】
学部を問わず他学部や他専修の教養が受けられる授業がほしい。
他学部の授業で単位に含まれるものがもっと多くても良いかと思いました。
教員数に偏りがあるのは仕方ないですが、専修によっては開講科目が非常に少ないことがあり、バランスが悪いと思います。
専門の勉強に入る前にもっと基本的な知識を身につけられるような概説の授業があればもっとやりやすかったなと思います。
専修によっては、入門の授業が入ってみれば専門的だった、ということがあった。
【卒論について】
卒業論文に向けた発表の機会がもう少し多いと嬉しい。
卒論の提出方法を専修関わらず一元化してほしい。
【その他】
研究室にある本でも気軽に利用したい。
よかったです。
先生には何度も相談に乗っていただき、良い環境でした。ありがとうございました。
生徒数が多いためか個人へのサポートは生徒の自主性によって異なる印象を受けましたが、先生個人個人がとても面白い方ばかりのため楽しい学生生活でした。
感謝しかないです！

自由記述欄についてのご回答

他学部の授業も卒業要件に入れてほしいとの要望がありました。現状でも卒業要件の選択科目として認められることがあるので、該当する科目がある際には教務係に問い合わせてください。平成 31 年度からは、「高度教養教育科目」や「高度国際性涵養教育科目」として他学部の単位を位置づけるカリキュラム改革を実施しています。

卒論作成指導についてもご意見をいただきました。卒業論文の作成や様式などは専門分野によって大きく異なっていますが、提出期限などは学部で統一しています。

専修の教員数、授業数についてもご意見をいただきましたが、教員数や講義数などは予算措置を必要とする事柄でもあり、簡単には応じられないのが実情です。

Wi-Fi の充実、自習室の拡充、ラウンジの設置など、学習環境についてもご意見をいただきました。これまでも年度末にトイレの特別清掃を行ったりしてきました。いずれも予算上の制約があり直ちに実現できるわけではありませんが、今後とも学習環境の整備に努めていきます。